

交通と商業の発達

陸上交通は豊臣政権による全国統一の歩みの中で整備が始まり、江戸時代には江戸・大坂・京都の三都を中心に各地の城下町へと延びる街道が全国にひかれた。また、海上交通は豪商の角倉了以や政商の河村瑞賢などの指導で整備された。これら交通の発達により、商業を担う層が拡大し、商業の発達に繋がった。

○交通の発達

●陸上交通の整備

江戸・大坂・京都の三都を中心に、各地を繋ぐ街道が完成した。

(1) _____ …三都を結ぶ(2) _____ 道のほか、中山道・甲州道中・日光道中・奥州道中を併せた主要街道の総称

…幕府直轄で、17世紀半ばから道中奉行が管理を担当

…(2)の大井川などでは幕府の政策で橋の設置が禁止

脇街道(脇往還) …伊勢街道・北国街道など、(1)以外の主要街道の総称

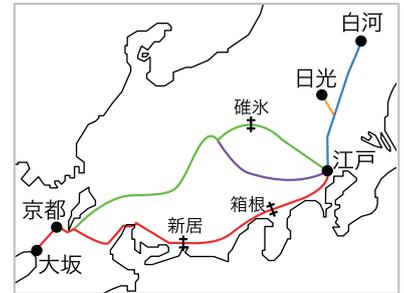


図1 五街道と関所

<街道の施設・人馬・夫役>

(3) _____ …人・物の検断所で、東海道の新居・箱根、中山道の(4) _____ が有名
…関東では「入鉄砲に出女」を厳しく取締り

(5) _____ …1里(約4km)ごとに設けられた標

(6) _____ (_____) …宿泊施設、人馬の中継所がある場所

…(6)を中心に発達した町を宿場町と呼称

伝馬役…公用の通行で使う人馬を、近隣の町・村で常備する夫役

…伝馬の不足時、補うように指定された村の負担を(7) _____ と呼称

(8) _____ …(6)の施設で、幕府公用の飛脚(9) _____ や伝馬役の手配を担当

(10) _____ ・(11) _____ …(6)の宿舎で、大名・公家・役人とその供人が利用

(12) _____ …(6)の宿舎で、一般旅行者が利用

◇飛脚…馬または徒歩による書状・荷物の運送業

◇大名の私費による大名飛脚は後に廃れ、民間の(13) _____ が発達

◇江戸時代には、遠距離での馬車の利用は未発達

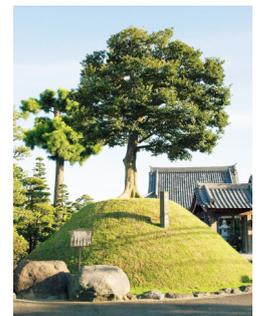


図2 一里塚と榎



図3 飛脚(左)

●水上交通の整備

大量の物資運送には、川・海・湖沼の水上交通が利用された。

<河川舟運>

17世紀初め、京都の豪商(14) _____ が賀茂川・富士川を整備し、また高瀬川の開削で水路を開いた。

<海運>

17世紀後半、江戸の商人(15) _____ が出羽酒田を起点に2つの航路を整備した。

①(16) _____ 航路(海運) …日本海より津軽海峡経由で江戸に至る航路

②(17) _____ 航路(海運) …日本海より下関経由で大坂に至る航路

◇他に大坂から江戸に至る航路(18) _____ もあり、大坂からの物資を下り物と呼称

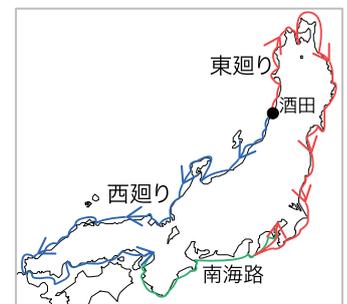


図4 航路



図5 河村瑞賢

<海運の帆船>

17世紀前半、⁽¹⁹⁾ _____ が大坂・江戸間で運航を開始した。

→18世紀前半、酒荷専門の⁽²⁰⁾ _____ が登場し、やがて酒以外にも運送した。

⇒船足が早い⁽²⁰⁾ _____ が次第に優位となり、⁽¹⁹⁾ _____ は衰退した。

◇西廻り航路で、蝦夷地や日本海側の産物を大坂へ運ぶ廻船⁽²¹⁾ _____ も活躍

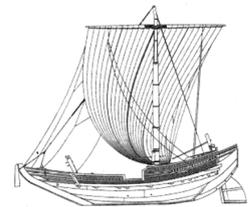


図6 菱垣廻船

○商業の発達

●近世初期の商業と交通整備

16世紀末～17世紀前半には、交通整備が未発達であった。

⇒豪商と呼ばれる堺・京都・博多・長崎・^{つるが}敦賀などの一部の商人が、地域格差・私有の船や蔵・朱印船貿易を利用して巨大な富を得た。



江戸幕府が交通を整備し、また、貿易を制限すると、

三都や城下町の商人・^{といや}問屋が商業・流通の中心となった。

→問屋は、生産地の^{なかがい}仲買から商品を引き受け、都市の^{おろしう}仲買に卸売した。

⇒一部の問屋は、産地に資金・原料を貸与して生産させる⁽²²⁾ _____ を始めた。



図7 角倉了以

●商業上の組織と営業税

問屋は、「^{かいそん}海損の共同保障・荷物運送の安全・流通の独占」を目的に、

多様な職種からなる仲間（組合）という連合組織をつくった。

→例えば、江戸の⁽²³⁾ _____ や大坂の⁽²⁴⁾ _____ が有名である。

→仲間は仲間掟を定めて営業の独占を図った。

⇒幕府は仲間を公認するかわりに、⁽²⁵⁾ _____ ・⁽²⁶⁾ _____ を課した。

◇株…幕府に公認された営業の独占権⁽²⁷⁾ _____ …株をもつ問屋・商人らの仲間



幕府は⁽²⁵⁾ _____ ⁽²⁶⁾ _____ の増収で財源を支えようとした。

⇒18世紀以降、特に田沼時代は問屋以外の商人・職人らの仲間が広く公認された。

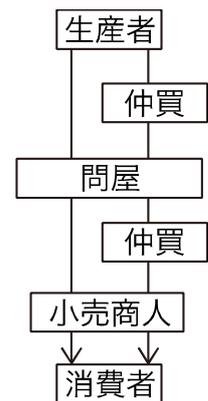


図8 流通

●市場

^{おろしうりいちば}卸売市場が三都や城下町に発達し、都市と農村を結ぶ心臓部となった。

◇卸売市場…問屋が生産地から大量に仕入れた商品を、^{なかがい}仲買あるいは^{こうり}小売商人に売り渡す場所

<代表的な卸売市場>

大坂…⁽²⁸⁾ _____ の米市場・^{ごこば}雑喉場の魚市場・⁽²⁹⁾ _____ の^{あおももの}青物市場

江戸…⁽³⁰⁾ _____ の魚市場・⁽³¹⁾ _____ の青物市場



図9 堂島の米市場



図10 日本橋の魚市場